

添付様式 1 - ① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A.まちづくりの目標		●			
B.目標を定量化する指標		●			
C.目標値		●			
D.その他 ( )		●			

添付様式 1 - ② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（事業の追加・削除を含む）

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数 値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
高次都市施設	地域交流センター	120	A=300 m <sup>2</sup> S 造 2 階建	118	A=322 m <sup>2</sup> S 造 2 階建	計画見直しによる面積の増加	影響なし	●	

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数 値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
まちづくり活 動推進事業	体験観光事業	—	—	1	まち歩き	地区内の歴史的街並みや酒 造会社など観光資源を活用 したまち歩き事業の追加	計画変更に伴い、まち歩きに関する指標を新 たに追加した	●	

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画			
阪南市民病院改築事業		下出地区	3,360	3,360	平成23年度～平成25年度	平成23年度～平成25年度	平成25年4月オープン		
防災等コミュニティ等拠点等施設		尾崎地区	543	543	平成26年度～平成27年度	平成26年度～平成27年度	平成28年4月オープン		
こども子育てみらい計画		黒田地内	388	—	平成27年度～平成27年度	—	—	最終計画から 削除	
コミュニティバス運行事業		市内			平成15年度～	平成15年度～	現在進行形		
(仮称)下荘地域複合型コミュニティ			—	—	—	—	—	最終計画から 削除	
大阪の一番南の市 阪南 健康マルシェ		尾崎地区	—	12	—	平成27年度～平成28年度	賑わいの創出に寄与	事業追加	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標		データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成の見込みの有無		
				単位	実績値	基準年度	目標年度	モニタリング	事後評価	事後評価	○	●	×	あり	なし
指標1	地域交流センターの年間利用者数	人/年	平成29年度の実績値		2,071	H26	4,000	H29	モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定 ●	4,043	事後評価	○		
指標2	体験観光事業の年間参加者数	人/年	平成29年度の実績値		71	H26	120	H29	モニタリング			モニタリング			●
									事後評価	確定 ●	45	事後評価	×		
指標3	-								モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	新しい施設ということに加え、駅から近いため、利用者数が増加し、目標値を達成した。	
指標2	市内外を含め集客を図ったが、想定していたほどの人数は集まらなかった。	
指標3	-	

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向より改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

指標		データの計測手法と 単位	データの計測手法と 評価値の求め方（時 期、場所、実施主体、 対象、具体手法等）	（参考）※1		従前値		数値（エ）			本指標を取り上げる理由	その他特記事項（指標計 測上の問題点、課題等）	
				計画以前の値 （ア）	基準 年度	（イ）	基準 年度						
その他の数 値指標 1	—							モニタリング	H				
								事後評価	確定				
									見込み				
その他の数 値指標 2	—							モニタリング	H				
								事後評価	確定				
									見込み				
その他の数 値指標 3	—							モニタリング	H				
								事後評価	確定				
									見込み				

※1 計画以前値とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由 )				
	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由 )				

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由 )				
	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由 )				

添付様式3-③ 持続可能なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			i.体制構築に向けた取組内容	ii.まちづくり組織名：組織の概要	
なし	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由 )				
	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由 )				

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内会議	総務部 地域まちづくり支援課 市民部 まちの活力創造課	平成30年4月～平成30年9月	総務部 地域まちづくり支援課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		その他の数値指標1	
指標名		地域交流センターの年間利用者数		-		-	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	地域交流センター（尾崎地区）	◎	地域交流センターの新築により、施設の利便性向上、地域コミュニティ形成の充実が図られ、利用者増加に寄与していると考えられる。				
提案事業	体験観光事業（尾崎地区）	○					
関連事業	阪南市民病院改築事業（下出地区）	-					
	防災等コミュニティ等拠点等施設（尾崎地区）	△					
	コミュニティバス運行事業（市内）	△					
	大阪の一番南の市 阪南 健康マルシェ（尾崎地区）	△					

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係が無いことが明確なので、評価できない。



今後の利用	引き続き、利用者の増加を目指していく。		
-------	---------------------	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標 2			指標 3		
指標名		体験観光事業の年間参加者数			-		
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	地域交流センター（尾崎地区）	○	市内外を含め情報発信に努めたところだが、当日あいにくの天気であったことも含め、数値目標達成には至らなかった。	IV			
提案事業	体験観光事業（尾崎地区）	◎					
関連事業	阪南市民病院改築事業（下出地区）	-					
	防災等コミュニティ等拠点等施設（尾崎地区）	△					
	コミュニティバス運行事業（市内）	△					
	大阪の一番南の市 阪南 健康マルシェ（尾崎地区）	△					

※目標未達成への影響度

××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。

×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。

△：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。

-：事業と指標の間には、もともと関係が無いことが明確なので、評価できない。



改善の方針 (記入は必須)	<p>今後は、実施回数の増加や尾崎地区外も含めた幅広い、まち歩きを実施することにより、近い将来で目標達成を目指す。</p>
------------------	---

※要因の分類

分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因

分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因

分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因

分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内会議	総務部 地域まちづくり支援課 市民部 まちの活力創造課	平成30年4月～平成30年9月	総務部 地域まちづくり支援課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載したまちの課題	達成されたこと（課題の改善状況）	残された未解決の問題	事業によって発生した新たな課題
現在の尾崎住民センターの老朽化や耐震性の低さから移転も含めたコミュニティ施設の再建が必要。	地域交流センターの新築により、施設の利便性向上、地域コミュニティ形成の充実が図られている。	なし	
歴史的まち並みや史跡等を活用した観光事業など。まちの賑わいづくりや活性化が求められている。	まち歩きの実施により市内参加者は、住み慣れたまちの魅力の再発見につながり、プライドシビック向上に寄与している。	参加者割合として市外参加者が僅かであったことから、市外への情報発信の強化が必要である。	



添付様式 5-③ 今後のまちづくり方策

A 欄	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
効果を持続させるために行う方策	地域交流センターの利用者の増加	地域活動や生涯学習活動を推進するとともに、多世代が交流できるような地域コミュニティ力の形成を図る。	地域自治活動の推進
	まちの賑わいづくりや活性化を図る	まず住民が自分たちの住んでいるまちの事を知ることで、住民一人ひとりが情報発信の媒体となるような意識形成を図る。	まち歩き等イベントの支援

B 欄	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の問題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	情報発信の強化	より効果的な情報発信方法を考え、庁内外の関係機関とも連携し、様々な角度から情報発信を行っていく。	関係機関との連携

■様式 5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載してください（チェック欄）

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
—	事業の実施過程の評価（添付様式 3）を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式 4-②）を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式 4-③）を再確認した。
●	残された課題や新たな課題（添付様式 5-②）を再確認した。

添付様式 5-参考記述 今後の、まちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み	見込み		あり	なし	予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	地域交流センター年間利用者数	人/年	2,071	H26	4,000	H29	確定 ●	4,043	○		あり				
							見込み				なし				
指標2	体験観光事業	人/年	71	H26	120	H29	確定 ●	45	×		あり				
							見込み				なし ●				
指標3	-						確定				あり				
							見込み				なし				
その他の数値指標1	-						確定				あり				
							見込み				なし				
その他の数値指標2	-						確定				あり				
							見込み				なし				
その補完数値指標3	-						確定				あり				
							見込み				なし				

## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目	要因分析		次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	地域交流センターの移転新築により利便性が向上し、多くの人が気軽に利用できるようになったことが利用者数増加につながったと思われる。	積極的なソフト事業の展開が利用者の増加につながると推測される。
	うまくいかなかった点	—	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	—	
	うまくいかなかった点	—	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	—	より効果的な情報発信方法を考え、庁内外の関係機関とも連携し、様々な角度から情報発信を行っていく。
	うまくいかなかった点	まち歩きイベントを知らない方が多く見受けられたことから、情報発信が不十分であったと思われる。	
PDCAによる事業・評価の進め方	うまくいった点	—	
	うまくいかなかった点	—	
その他	うまくいった点	—	
	うまくいかなかった点	—	

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称（当該地区の次期計画も含む）

--

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ウェブサイトにて公表	平成31年4月1日～ 平成31年4月21日	平成31年4月1日～ 平成31年4月21日	郵送・FAX・メール	総務部 地域まちづくり支援課
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	—	—	—		

住民の意見	—
-------	---

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	—	—	—	—	—
その他の委員	—				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にか かる審議	方法書	—
	成果の評価	—
	実施過程の評価	—
	効果発現要因の整理	—
	事後評価原案の公表の妥当性	—
	その他	—
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	—
今後のまちづくりにつ いて審議	今後のまちづくり方策の作成	—
	フォローアップ	—
	その他	—
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	—
その他		—

※1 審議事項の詳細は「評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理（添付様式5）、今後のまちづくり方策の検討（添付様式6）、評価委員会の審議（添付様式9）以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
-	-	-
-	-	-

有識者の意見	
	-